

性別	中高校別	他人の煙は有害と思うか						
		思わない	おそろく思 われない	おそろく思 う	思う	不明	合計	
女	中学	1年生	351 5.2%	60 .9%	1294 19.1%	4723 69.6%	359 5.3%	6787 100.0%
		2年生	397 5.8%	56 .8%	1340 19.5%	4710 68.7%	354 5.2%	6857 100.0%
		3年生	440 6.7%	35 .5%	1115 16.9%	4760 72.1%	250 3.8%	6600 100.0%
		不明	13 8.1%	2 1.2%	41 25.5%	94 58.4%	11 6.8%	161 100.0%
		合計	1201 5.9%	153 .7%	3790 18.6%	14287 70.0%	974 4.8%	20405 100.0%
	高校	1年生	780 7.8%	48 .5%	1249 12.5%	7501 75.1%	404 4.0%	9982 100.0%
		2年生	705 8.1%	36 .4%	1105 12.7%	6392 73.6%	444 5.1%	8682 100.0%
		3年生	689 8.7%	28 .4%	995 12.5%	5879 74.0%	358 4.5%	7949 100.0%
		不明	5 3.6%	3 2.2%	12 8.8%	107 78.1%	10 7.3%	137 100.0%
		合計	2179 8.1%	115 .4%	3361 12.6%	19879 74.3%	1216 4.5%	26750 100.0%

性別、中高別、学年別にみた この7日間の家での受動喫煙を受けた日数 (質問49)

性別	中高別	この7日間の家での受動喫煙を受けた日数								
		0日	1-2日	3-4日	5-6日	7日	不明	合計		
男	中学	1年生	度数	3745	416	435	272	1158	489	6515
			学年の%	57.5%	6.4%	6.7%	4.2%	17.8%	7.5%	100.0%
		2年生	度数	3844	439	381	334	1312	482	6792
			学年の%	56.6%	6.5%	5.6%	4.9%	19.3%	7.1%	100.0%
	3年生	度数	3720	357	300	256	1350	342	6325	
		学年の%	58.8%	5.6%	4.7%	4.0%	21.3%	5.4%	100.0%	
	不明	度数	67	5	4	6	22	10	114	
		学年の%	58.8%	4.4%	3.5%	5.3%	19.3%	8.8%	100.0%	
	合計	度数	11376	1217	1120	868	3842	1323	19746	
		学年の%	57.6%	6.2%	5.7%	4.4%	19.5%	6.7%	100.0%	
	高校	1年生	度数	6006	648	535	412	2014	560	10175
			学年の%	59.0%	6.4%	5.3%	4.0%	19.8%	5.5%	100.0%
2年生			度数	5620	622	469	444	1979	512	9646
			学年の%	58.3%	6.4%	4.9%	4.6%	20.5%	5.3%	100.0%
3年生		度数	5174	582	452	348	1802	478	8836	
		学年の%	58.6%	6.6%	5.1%	3.9%	20.4%	5.4%	100.0%	
不明		度数	64	9	7	6	24	12	122	
		学年の%	52.5%	7.4%	5.7%	4.9%	19.7%	9.8%	100.0%	
合計		度数	16864	1861	1463	1210	5819	1562	28779	
		学年の%	58.6%	6.5%	5.1%	4.2%	20.2%	5.4%	100.0%	

性別	中高別	この7日間の家の中の受動喫煙を受けた日数							合計	
		0日	1-2日	3-4日	5-6日	7日	不明			
女	中学	1年生	度数	3811	443	394	371	1435	333	6787
			学年の%	56.2%	6.5%	5.8%	5.5%	21.1%	4.9%	100.0%
			度数	3926	452	370	331	1470	308	6857
		学年の%	57.3%	6.6%	5.4%	4.8%	21.4%	4.5%	100.0%	
		3年生	度数	3749	413	337	297	1584	220	6600
	学年の%	56.8%	6.3%	5.1%	4.5%	24.0%	3.3%	100.0%		
	不明	度数	74	13	8	3	55	8	161	
	学年の%	46.0%	8.1%	5.0%	1.9%	34.2%	5.0%	100.0%		
	合計	度数	11560	1321	1109	1002	4544	869	20405	
	学年の%	56.7%	6.5%	5.4%	4.9%	22.3%	4.3%	100.0%		
	高校	1年生	度数	5828	605	514	424	2251	360	9982
			学年の%	58.4%	6.1%	5.1%	4.2%	22.6%	3.6%	100.0%
			度数	4961	607	401	370	1960	383	8682
		学年の%	57.1%	7.0%	4.6%	4.3%	22.6%	4.4%	100.0%	
		3年生	度数	4603	527	405	317	1808	289	7949
学年の%	57.9%	6.6%	5.1%	4.0%	22.7%	3.6%	100.0%			
不明	度数	65	8	9	8	38	9	137		
学年の%	47.4%	5.8%	6.6%	5.8%	27.7%	6.6%	100.0%			
合計	度数	15457	1747	1329	1119	6057	1041	26750		
学年の%	57.8%	6.5%	5.0%	4.2%	22.6%	3.9%	100.0%			

性別、中高別、学年別にみた この7日間の家以外での受動喫煙を受けた日数（質問50）

性別	中高別		この7日間の家以外での受動喫煙を受けた日数							合計
			0日	1-2日	3-4日	5-6日	7日	不明		
男	中学	1年生	度数	4091	861	399	189	481	494	6515
			学年の%	62.8%	13.2%	6.1%	2.9%	7.4%	7.6%	100.0%
		2年生	度数	4167	925	425	244	547	484	6792
			学年の%	61.4%	13.6%	6.3%	3.6%	8.1%	7.1%	100.0%
		3年生	度数	4042	790	398	190	557	348	6325
	学年の%		63.9%	12.5%	6.3%	3.0%	8.8%	5.5%	100.0%	
	不明	度数	72	12	5	3	11	11	114	
		学年の%	63.2%	10.5%	4.4%	2.6%	9.6%	9.6%	100.0%	
	合計	度数	12372	2588	1227	626	1596	1337	19746	
		学年の%	62.7%	13.1%	6.2%	3.2%	8.1%	6.8%	100.0%	
	高校	1年生	度数	5912	1484	854	392	962	571	10175
			学年の%	58.1%	14.6%	8.4%	3.9%	9.5%	5.6%	100.0%
			度数	5645	1363	783	383	946	526	9646
2年生		学年の%	58.5%	14.1%	8.1%	4.0%	9.8%	5.5%	100.0%	
		度数	5060	1238	679	404	970	485	8836	
3年生		学年の%	57.3%	14.0%	7.7%	4.6%	11.0%	5.5%	100.0%	
		度数	70	17	4	4	13	14	122	
不明		学年の%	57.4%	13.9%	3.3%	3.3%	10.7%	11.5%	100.0%	
		度数	16687	4102	2320	1183	2891	1596	28779	
合計		学年の%	58.0%	14.3%	8.1%	4.1%	10.0%	5.5%	100.0%	
		度数								

性別	中高校	この7日間の家以外での受動喫煙を受けた日数							合計
		0日	1-2日	3-4日	5-6日	7日	不明		
女	中学	1年生	度数	1125	579	268	506	373	6787
			学年の%	16.6%	8.5%	3.9%	7.5%	5.5%	100.0%
		2年生	度数	1164	561	265	517	327	6857
			学年の%	17.0%	8.2%	3.9%	7.5%	4.8%	100.0%
	3年生	度数	1077	537	242	620	256	6600	
		学年の%	16.3%	8.1%	3.7%	9.4%	3.9%	100.0%	
	不明	度数	25	15	7	20	9	161	
		学年の%	15.5%	9.3%	4.3%	12.4%	5.6%	100.0%	
	合計	度数	3391	1692	782	1663	965	20405	
		学年の%	16.6%	8.3%	3.8%	8.1%	4.7%	100.0%	
	高校	1年生	度数	1946	1002	447	932	407	9982
			学年の%	19.5%	10.0%	4.5%	9.3%	4.1%	100.0%
2年生			度数	1681	854	415	813	418	8682
			学年の%	19.4%	9.8%	4.8%	9.4%	4.8%	100.0%
3年生		度数	1426	793	372	744	328	7949	
		学年の%	17.9%	10.0%	4.7%	9.4%	4.1%	100.0%	
不明		度数	23	18	9	12	10	137	
		学年の%	16.8%	13.1%	6.6%	8.8%	7.3%	100.0%	
合計		度数	5076	2667	1243	2501	1163	26750	
		学年の%	19.0%	10.0%	4.6%	9.3%	4.3%	100.0%	

性別、中高校、学年別にみた 公共での禁煙に賛成かどうか（質問51）

性別	中高校	公共での禁煙に賛成ですか					
		はい	いいえ	不明	合計		
男	中学	1年生	度数	4899	1008	608	6515
			学年の%	75.2%	15.5%	9.3%	100.0%
		2年生	度数	5019	1214	559	6792
			学年の%	73.9%	17.9%	8.2%	100.0%
		3年生	度数	4704	1230	391	6325
	学年の%	74.4%	19.4%	6.2%	100.0%		
	不明	度数	80	20	14	114	
	学年の%	70.2%	17.5%	12.3%	100.0%		
	合計	度数	14702	3472	1572	19746	
	学年の%	74.5%	17.6%	8.0%	100.0%		
高校	1年生	度数	7523	2004	648	10175	
		学年の%	73.9%	19.7%	6.4%	100.0%	
	2年生	度数	6978	2059	609	9646	
		学年の%	72.3%	21.3%	6.3%	100.0%	
	3年生	度数	6165	2105	566	8836	
	学年の%	69.8%	23.8%	6.4%	100.0%		
	不明	度数	74	32	16	122	
	学年の%	60.7%	26.2%	13.1%	100.0%		
	合計	度数	20740	6200	1839	28779	
	学年の%	72.1%	21.5%	6.4%	100.0%		

性別	中 高 別		公共での禁煙に賛成ですか				
			はい	いいえ	不明	合計	
女	中学	学年	1年生	5277 77.8%	1060 15.6%	450 6.6%	6787 100.0%
			2年生	5370 78.3%	1075 15.7%	412 6.0%	6857 100.0%
			3年生	5124 77.6%	1188 18.0%	288 4.4%	6600 100.0%
			不明	125 77.6%	19 11.8%	17 10.6%	161 100.0%
			合計	15896 77.9%	3342 16.4%	1167 5.7%	20405 100.0%
	高校	学年	1年生	7836 78.5%	1690 16.9%	456 4.6%	9982 100.0%
			2年生	6665 76.8%	1562 18.0%	455 5.2%	8682 100.0%
			3年生	5964 75.0%	1600 20.1%	385 4.8%	7949 100.0%
			不明	83 60.6%	39 28.5%	15 10.9%	137 100.0%
			合計	20548 76.8%	4891 18.3%	1311 4.9%	26750 100.0%

平成20年度厚生労働科学研究費補助金
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業

未成年の喫煙・飲酒状況に 関する実態調査研究

H19-循環器等(生習)―一般―006

研究代表者 大井田隆(日本大学・医・公衆衛生)

研究分担者 簗輪真澄、鈴木健二、和田清、樋口進
兼板佳孝、神田秀幸、尾崎米厚

研究協力者 宗澤岳史

研究班のミッション

- わが国の中高生の喫煙及び飲酒行動の実態と関連要因を明らかにし、対策の評価と推進方策を検討する。健康日本21の最終評価の評価指標を提出する。
- 2007年度全国調査(タバコ価格)
- 2008年度全国調査(4年に1度継続実施中の中高生の喫煙及び飲酒行動調査)
- 喫煙及び飲酒行動に関連する環境要因調査
- 喫煙及び飲酒を取り巻く新たな問題の調査

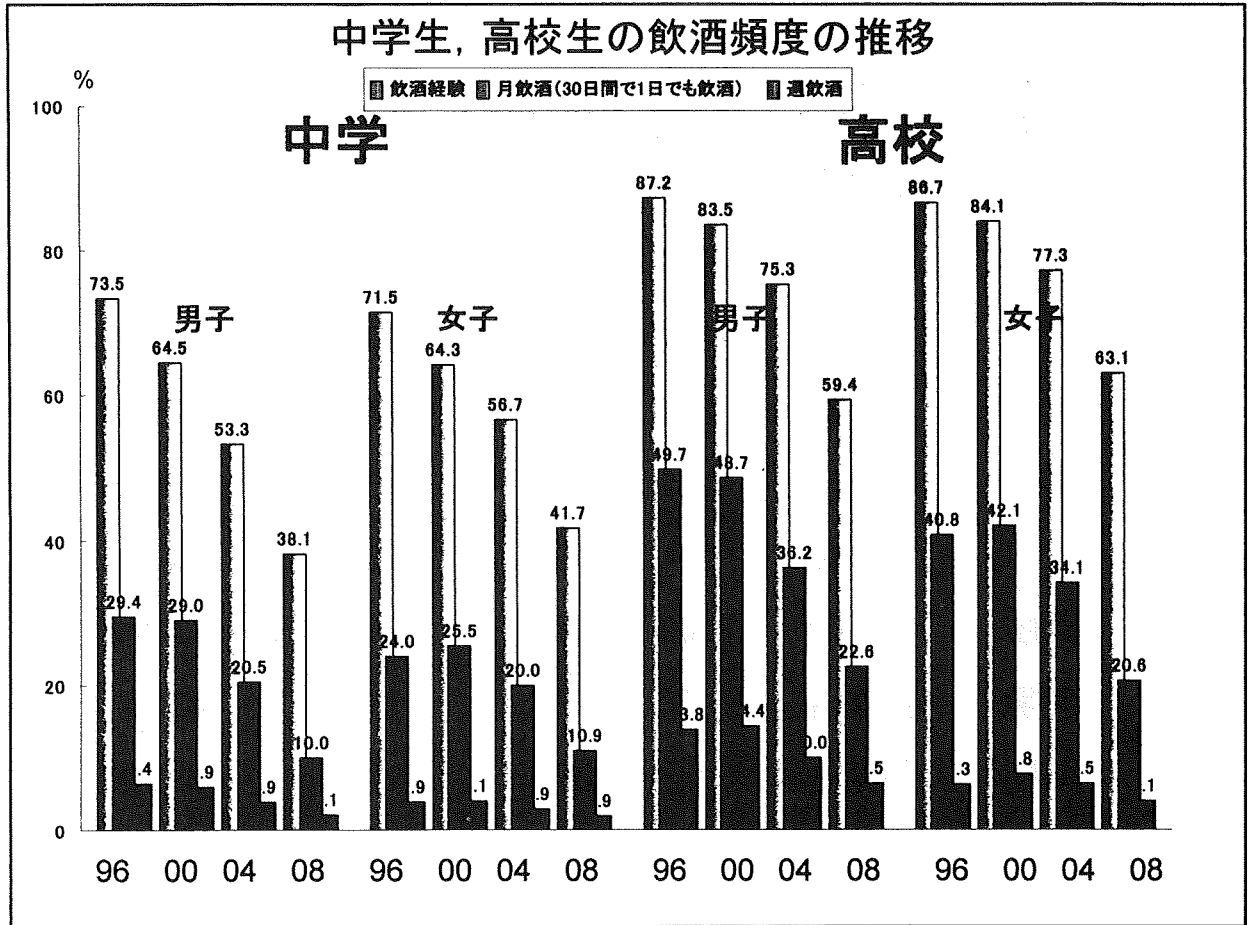
2008年度調査の方法

- 全国に中学校約1万校、高等学校約5千校から無作為に中学校130、高等学校110校抽出し、学校長宛に無記名の調査票と密封封筒を送付した。
- 担任の教師が生徒に調査票と封筒を配布し、教室内で記入させた。
- 学校より日本大学に調査票入り封筒をまとめて送付した。
- 従来(96,00,04)の3回の調査では対象者数約14万人、回収数約10万人

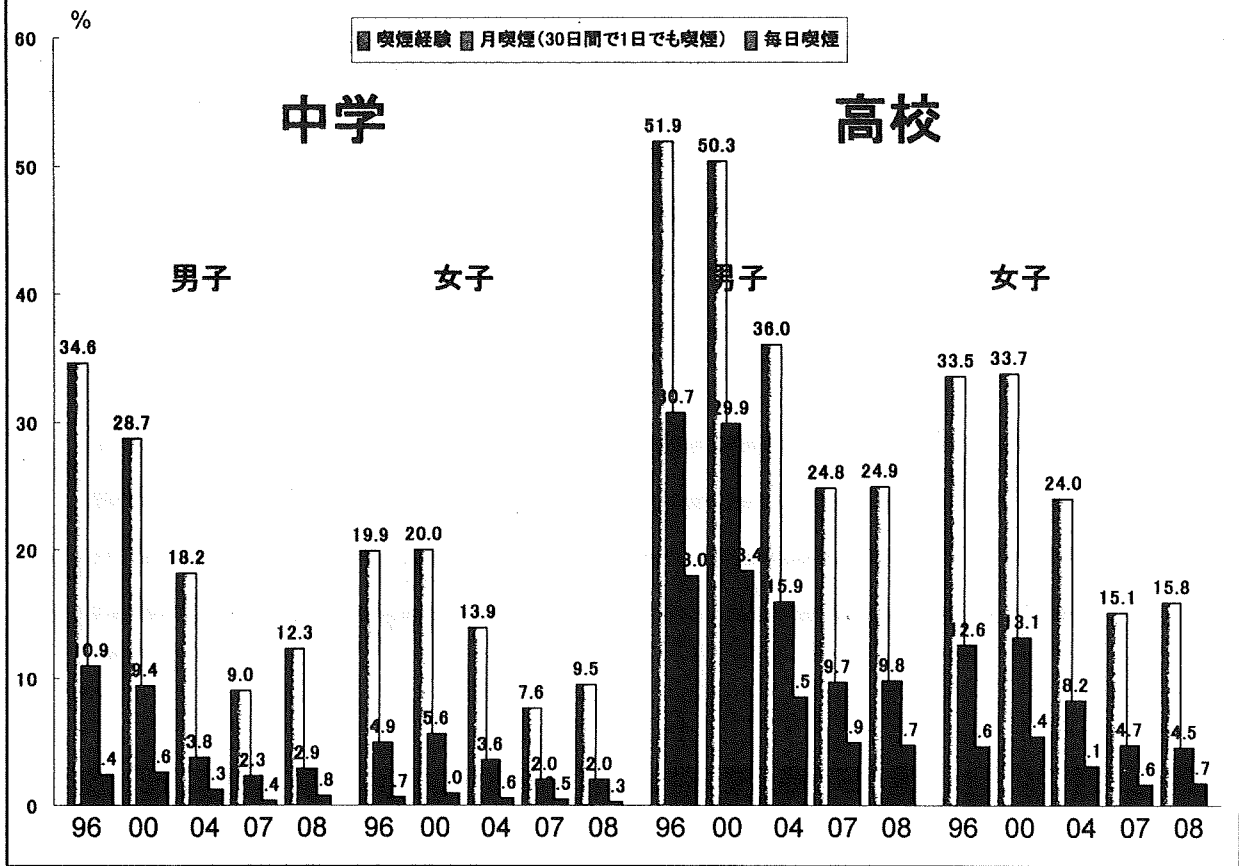
全国調査の概要(喫煙、飲酒行動)

年度		全学校数	抽出数	回答数	協力率(%)	回答生徒数
1996	中学	11,274	122	80	66	42,798
	高校	5,501	109	73	67	73,016
2000	中学	11,200	132	99	75	47,246
	高校	5,315	102	77	76	59,051
2004	中学	11,060	131	92	70	39,385
	高校	5,272	109	87	80	63,066
2008	中学	10,955	130	92	71	40,151
	高校	5,115	110	80	73	55,529

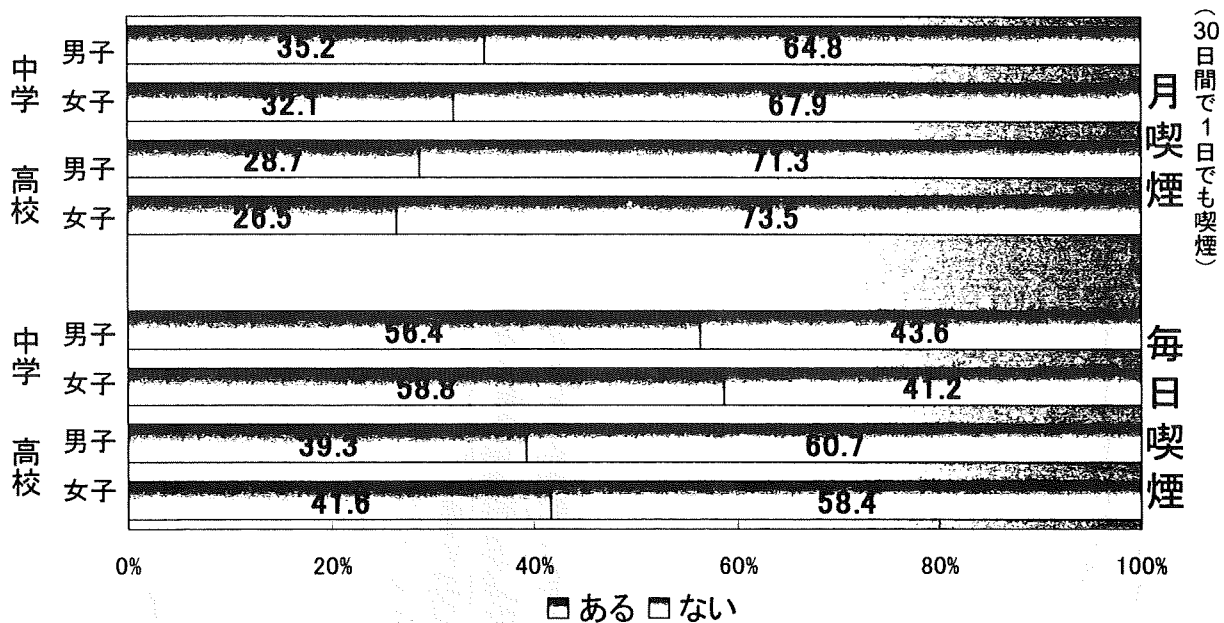
中学生、高校生の飲酒頻度の推移



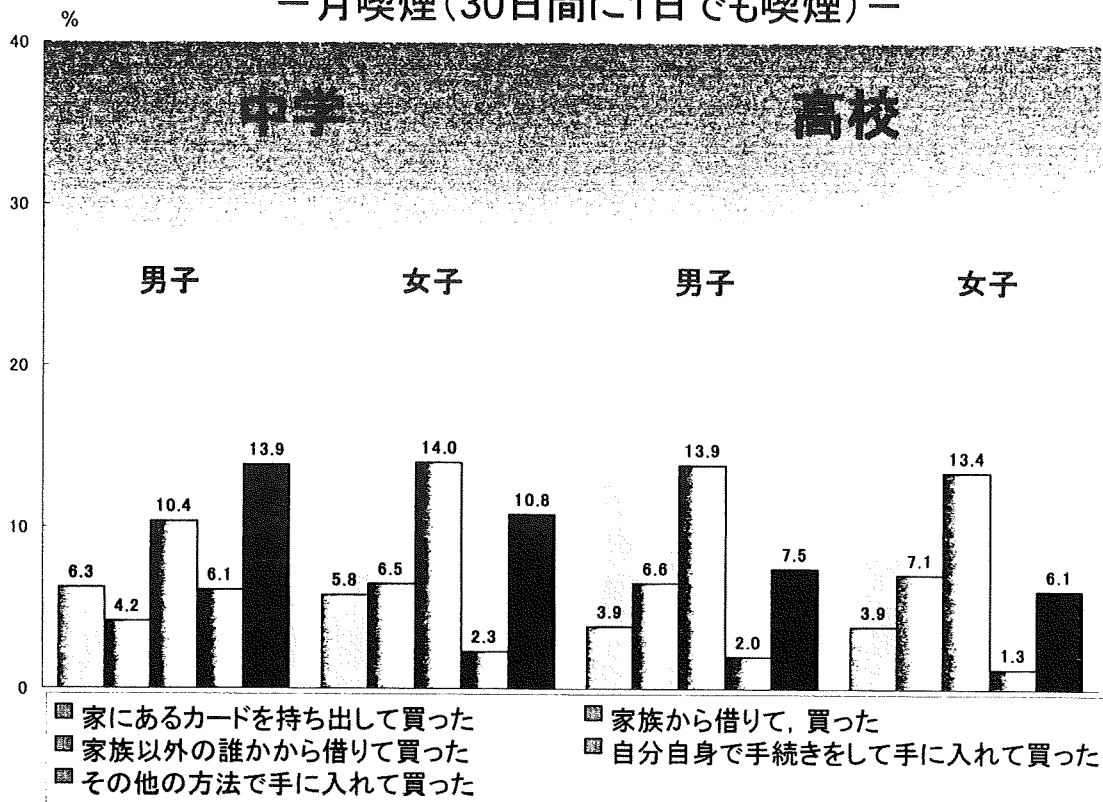
中学生、高校生の喫煙頻度の推移



タスポを使ってタバコを手に入れたことがあるか？

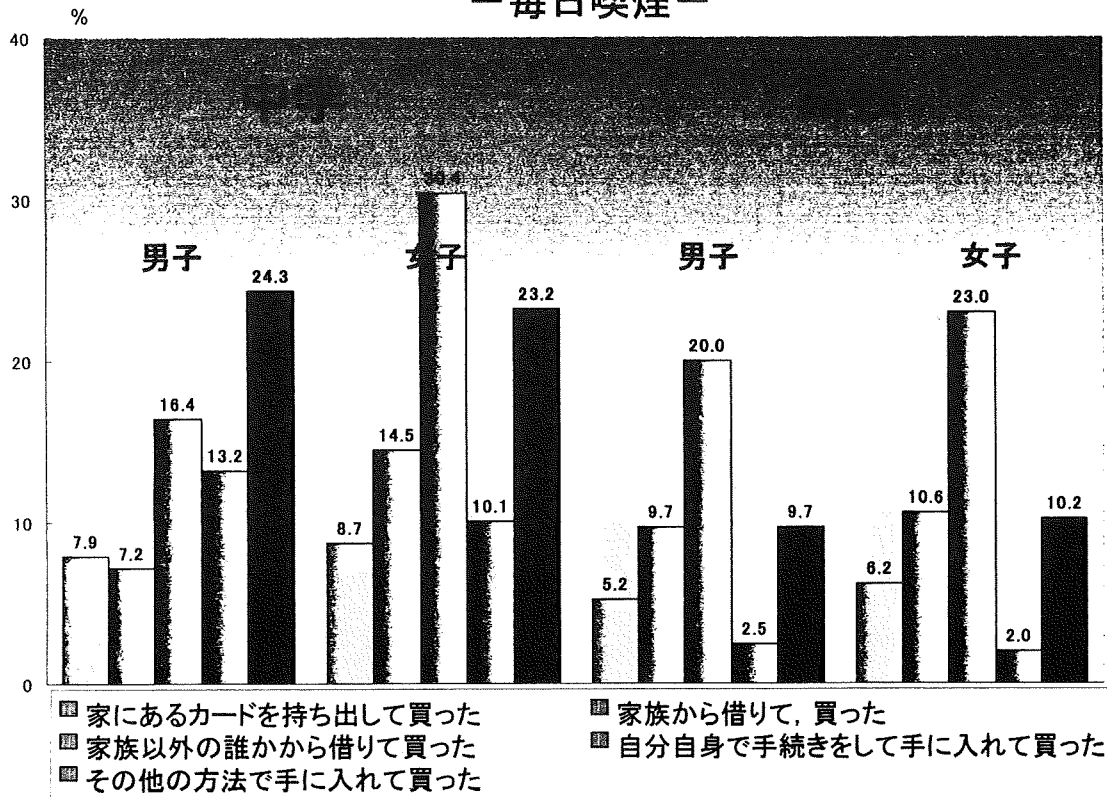


タスポを使ったタバコ購入方法
 一月喫煙(30日間に1日でも喫煙)ー



タスポを使ったタバコ購入方法

— 毎日喫煙 —



我が国の大学医学部学生の喫煙率とその関連要因

玉城哲雄、大井田隆、兼板佳孝
日本大学医学部公衆衛生学

要旨

本研究は、大学医学部学生の喫煙率とその関連要因を明らかにすることである。また今回の調査の結果が、大学医学部学生にとって効果的な喫煙防止対策の推進に資することを目的とする。2006年11月に全国80大学の医学部の中から無作為に20大学を抽出し、抽出された大学に対して本調査への参加を依頼した。調査方法は医学部学生に対し、自記式質問票を用い無記名方式で行った。また教員が記載する学校の喫煙防止対策についての調査も実施した。調査時期は2006年12月から2007年3月までの期間であった。喫煙に関連する要因を明らかにするために、カイ二乗検定と多重 logistic 回帰分析を行った。有効回答者数は、1,619人であった。喫煙率は参加者全体では、13.7%であった。男子では18.1%、女子では5.1%であった。大学医学部学生の喫煙に促進的に関連する項目は、「男性」、「私立大学」、「兄弟姉妹が喫煙している」、「飲酒をしている」、「コーヒー摂取をしている」、「不眠がある」、「睡眠時間6時間未満」であった。日本人医学部大学生の喫煙率は日本人の一般成人に比べて低値であった。今回の結果で明らかとなった喫煙行動に関連する要因を認識し、今後より一層喫煙防止教育を取り込んでいくことが重要である。

A. 緒言

世界保健機関（WHO）は1999年、医師は健康な生活のモデルとして喫煙すべきではなく、また患者の喫煙も黙認すべきではないことを提唱している(1)。また、医師の禁煙指導が患者の喫煙行動に大きく影響することが報告されており、医師の喫煙防止の姿勢が重要視されている(2)。

そこで日本医師会は2000年に会員自身の喫煙行動と、患者に対する喫煙指導に関する最初の疫学調査を実施した。その

結果、男性医師の喫煙率は27.1%、女性医師の喫煙率は6.8%であった。さらに2004年度に行った同様の調査では、男性医師の喫煙率は21.5%、女性医師の喫煙率は5.4%であった(3)。2006年の日本の一般成人の男性の喫煙率が43.3%、女性の喫煙率が12.0%であることと比較すると日本人医師の喫煙率は低率ではあるが、米国での医師の喫煙率が約5%(4)であることと比べると依然として高いことが指摘されている。

元来医師をはじめとする医療従事者は、

喫煙が健康に及ぼす影響に関する情報を得る機会が多く、喫煙の健康への影響についての知識がより普及した集団と考えることができる。さらに医療従事者は、自らたばこを吸わない健康的なライフスタイルの模範になると共に、患者の禁煙を積極的に支援する立場にある。しかしながら、喫煙している医師は喫煙していない医師と比べて、患者への禁煙指導において消極的とも言われている(5.6)。そのため、医学部学生の喫煙状況や患者の喫煙に対する考え、さらに医学部での禁煙教育の状況を把握することは、将来における医師の喫煙防止活動に対し非常に重要である。これまでに、大学医学部学生に対して、喫煙率や周囲の喫煙状況、喫煙防止に対する取り組みへの姿勢などの喫煙調査は国内外において多数の報告がされているが(7-17)、わが国においては、大学医学部学生の代表性のあるサンプルを用いてその喫煙について検討した研究は報告されていない。そこで今回我々は、日本全国の大学医学部、医科大学より無作為に抽出された学校の在籍学生において、喫煙習慣とその関連要因を検討した。

B. 研究方法

2006年11月に全国80大学の医学部の中から無作為に20大学を抽出し、抽出された大学に対して本調査への参加を依頼した。20校全ての参加の確認が出来た後、調査票および調査票回収用封筒を送付した。調査票記載の段階では各大学の教員より学生にこの調査の目的と趣旨について説明してもらうこととした。またこの

調査に協力したくない場合、何も記載しないで提出してもらうよう説明をした。調査票には個人及び在籍している大学のプライバシーの保護に努めることを明記した。尚、本研究の実施は、国立保健医療科学院の倫理委員会の承認を受けた。

調査方法は自記式質問票を用い、無記名方式で行った。調査時期は2006年12月から2007年3月までの期間で、対象者は全校統一して4年生とした。データの収集は、対象者が調査票に記入した後、封筒に密封した状態で、各大学の教員に提出された。教員には学校の喫煙防止対策についての調査票を記入させた。

学生への調査の項目は、属性(性別、年齢)、現在の喫煙状況、過去の喫煙状況、ニコチン依存度との関連性があるとされるFTQ(Fagerstrom Tolerance Questionnaire)(18.19)の日本語8項目(20.21)、喫煙に対する考え方、周囲の喫煙状況、飲酒状況、コーヒーの摂取、部活動への参加、運動習慣、睡眠状況、日中の眠気に関する項目(Epworth Sleepiness Scale: ESS)(22)、GHQ(The General Health Questionnaire)(23)を用いたメンタルヘルス評価であった。また教員が記載する調査票には、大学での禁煙規定、大学内におけるタバコの販売の有無、タバコを含む健康教育の実施状況であった。

喫煙についての主な質問と[選択枝]を以下に記す。

<個人調査票：医学学生に回答させたもの>

1. あなたは今までに1本でもタバコを吸ったことがありますか。[いいえ/はい]

2. あなたは6ヶ月以上に渡って毎日タバコを吸っていたことがありますか。[いいえ/はい]
3. あなたは現在タバコを吸いますか。[毎日吸う/時々吸う程度/全く吸わない]
4. (3.で毎日吸う/時々吸う程度を回答した人に対して) あなたは①今までに禁煙をしましたか。[いいえ/はい]②現在禁煙したいと思っていますか。[いいえ/はい]③禁煙するようアドバイスされましたか。[いいえ/はい]④この1年間に学校建物内で喫煙しましたか。[いいえ/はい]⑤この1年間に学校敷地内で喫煙しましたか。[いいえ/はい]
5. (3.で毎日吸うと回答した人に対して) あなたは毎日何本タバコを吸いますか。
6. あなたはこの7日間で何日受動喫煙を経験しましたか。
7. あなたは医学生という立場上タバコを吸うべきでないと思いますか。[いいえ/はい/わからない]
8. あなたは患者さんの喫煙についてどう思いますか。[吸うべきでない/吸ってもよい/患者の自由にゆだねるべき/わからない]
9. あなたのお父さんはタバコを吸っていますか。[吸っていない/以前吸っていた/吸っている/お父さんはいない]
10. あなたのお母さんはタバコを吸っていますか。[吸っていない/以前吸っていた/吸っている/お母さんはいない]
11. あなたの兄弟はタバコを吸っていますか。[吸っていない/吸っている/兄弟はいない]
12. あなたの姉妹はタバコを吸っていますか。[吸っていない/吸っている/姉妹はいない]

すか。[吸っていない/吸っている/姉妹はいない]

<学校の喫煙防止対策に関する調査票：
教員に回等させたもの >

1. 貴校での禁煙規定についてお教えてください。[全館内および敷地内で禁煙/全館内で禁煙も敷地内は一部喫煙可/禁煙規定はない]
2. 貴校にはタバコの自動販売機がありますか？また売店等でタバコの販売をしていますか？(複数回答可) [タバコの自動販売機はない/タバコの自動販売機がある/売店等でタバコを売っていない/売店等でタバコを売っている]
3. ①タバコ②酒③薬物④その他に対し、貴校では学生に健康教育を実施していますか？[行った/行わなかった]

尚、現在の喫煙状況で「毎日吸う」または「時々吸う」と回答した者を喫煙者と定義した。そして喫煙者に該当しない者を非喫煙者と定義した。さらにFTQ scoreが4点以上の者をニコチン依存者と定義した。また睡眠状況の中には、入眠障害、中途覚醒、早朝覚醒に関する質問項目を設定し、このうちどれか1つ以上を有することを不眠と定義した。

統計解析としてまず、それぞれの調査項目ごとに喫煙率を算出した。次に喫煙の関連要因を調べるために、カイ二乗検定と多重logistic回帰分析を行った。多重ロジスティック回帰分析では、現在の喫煙の有無を従属変数とし、大学の種別(国公立、私立)、属性(年齢、性別)、周囲の喫煙状況(両親、兄弟姉妹)、飲酒状況、コーヒーの摂取、部活動の有無、運動、睡眠障害の有無、日中の眠気に関

する得点、GHQの得点を独立変数とした。これにより喫煙に関する調整Odds比及びその95%信頼区間(95%CI)を算出した。全ての統計処理に、SPSS for Windows Version 11.5を使用した。尚、有意水準は全て5%とした。

C. 結果 (Results)

1. 回答者の属性

対象の学生数は1,900人(男性1,287人、女性613人)であり、このうち1,683人から回答が得られた(回収率88.6%)。そして年齢の記載がないもの15枚、性別の記載がないもの10枚、年齢及び性別の両方の記載がないもの22枚、そして白票17枚を除く1,619人分を解析に用いた。解析例のうち、男性は1,074人(66.3%)、女性は545人(33.7%)であった。(表1)。

2. 喫煙率

喫煙率を表2に示す。男性の喫煙率の方が女性の喫煙率より有意に高かった。また私立大学学生の喫煙率は、国公立大学学生の喫煙率に比べて有意に高かった。

3. 喫煙に関連する要因

ロジスティック回帰分析の結果を表3に示す。多変量解析において、「男性」、「私立大学」、「兄弟姉妹が喫煙している」、「飲酒をしている」、「コーヒーを飲む習慣」、「不眠症状を有する」、「睡眠時間6時間未満」において、喫煙に関する調整オッズ比は有意に高値であった。

4. ニコチン依存者率

ニコチン依存者率を表4に示す。「大学種別」、「性別」、「年齢」が共にニコチン依存者率と関連していた。

5. 喫煙者の喫煙開始年齢と禁煙に対する意識

喫煙者の喫煙開始年齢は、70%以上が20歳未満であった。また喫煙している医学部学生の66.7%が過去に禁煙を試みていた。さらに喫煙している医学部学生の半数以上が、禁煙をしたいと考えていた。

(表5)

6. 学校の喫煙防止対策

大学における禁煙規定では、敷地内一部喫煙可としている学校が、全敷地内禁煙としている学校より多かった。タバコの自動販売機のない学校、売店がタバコを販売していない学校が、それぞれ約80%を占めた。タバコの健康教育を実施した学校が約90%を占めた。(表6)

D. 考察

日本では国公立、私立を合わせて80校の医学部がある。本研究対象者より一つ上の学年が受験した、第102回の医師国家試験では、80校での受験者数が8,535人であり、男女比が65.5%と34.5%であったことを踏まえると、本研究サンプルは、調査人数及び男女構成において、それらと非常に近似している。さらに我々は、全国80大学の医学部の中から無作為に20大学を抽出した。これらのことは本研究サンプルが、わが国の医学部の4年生を概ね代表することを示唆する。

今回の調査対象となった医学部の4年生は、日本の各大学において多少の差異はあるものの、概ね喫煙防止教育が実施されており、場合によっては終了した学年である。彼らは間もなく実際の患者と接する臨床実習を間近に控えおり、近い